

# 《 環境経済部 平成30年度予算見積方針 》

## 部内マネジメント責任者

部長 竹村 徹

## 予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

### 【施策全体の方向性、基本的な考え方】

◆人口減少と少子高齢社会が進むなかにあっても持続的な発展を図り、低炭素社会への転換、資源循環型社会の構築など、環境にやさしく心地よさが感じられるまちづくりを進めるとともに、新クリーンセンターを円滑に移働させ、新たな拠点として市民の総合的な環境学習を支援します。また、農・商・工それぞれの基盤強化と連携による産業の振興と交流人口の増加を図り、活気と賑わいあふれるまちづくりを行います。

### 【重点事項】

- ◆次世代を担う子どもを主な対象として環境学習の展開を総合的に進めるにあたり、新クリーンセンターを活用した取り組みを進めるとともに、蓄電池等補助制度など、環境に配慮したまちづくり(スマートエコシティ)に寄与していきます。
- ◆商工会議所や観光物産協会等の関係団体への支援を強化するほか、工場等設置助成金制度を活用した企業集積を推進することで、地域経済の活性化を図ります。
- ◆人・農地プランに基づく経営体の育成や青年就農者を支援するとともに、新たな基盤整備や老朽化の著しい土地改良施設の機能更新を進めます。また、農水産物のブランド化をより一層図り、地産地消および農業振興に向けた取り組みを支援します。
- ◆焼却ごみ類の減量とリサイクル率の向上に向け、発生抑制を推進するとともに、分別の徹底と資源化を進めます。
- ◆新クリーンセンターでは、市民へのごみ処理の理解を深めるため見学者の受け入増を図るとともに、新しい組織体制の下で、これまで、環境課およびごみ減量推進課が実施をしていた事業を新施設で実施することで、第2次草津市環境基本計画などの更なる推進を図ります。
- ◆クリーンセンターへ搬入されるごみを適正に処理するとともに、ごみの焼却熱を利用した発電を行います。

### 【健幸都市づくりの推進に向けた考え方、主な事業】

- ◆しごとの健幸づくりに向け、草津版ヘルスツーリズムの実証や、飲食店と連携した健康メニューの創造、市内事業者の健康経営に向けた啓発事業を行います。
- ◆草津ブランド認証農水産物を中心に、草津産農産物(ベジキサ)の振興、推進に向けた取り組みを支援します。
- ◆食品ロス削減の全国的な取組の「30・10運動」に加え、さまざまな食品ロス削減と健康づくりの取組みである「3010運動+」を実施し、焼却ごみ類の発生抑制を推進します。

## 【見 積】平成30年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		平成30年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
環境課	172,750	160,076	○風車解体を確実に実施するとともに、再生可能エネルギーの普及啓発を進めます。(環境) ○地方創生推進交付金を活用し、ピワイチ観光やヘルスツーリズムの推進を行います。(商労) ○工場等設置助成金制度により企業集積を図ります。(商労) ○人・農地プランに基づき中心となる経営体の育成や新たな担い手の確保を図るとともに、基盤整備事業への本格的な着手や土地改良施設の機能更新を進めます。また、農水産物のブランド化をより一層図り、地産地消および農業振興に向けた取り組みを支援します。(農林) ○大規模災害時に大量に発生する廃棄物の処理の方法等をまとめた「災害廃棄物処理計画」を策定します。(ごみ減) ○新クリーンセンターの運転管理を包括的に委託します。(クリーンセンター)
商工観光労政課	308,072	277,463	
農林水産課	376,758	215,010	
ごみ減量推進課	636,325	585,861	
廃棄物処理施設建設室	33,072	33,072	
クリーンセンター	652,035	228,060	
合 計	2,179,012	1,499,542	

## 【前年度】平成29年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
環境課	57,132	29,607	
商工観光労政課	369,588	276,447	
農林水産課	263,057	145,091	
ごみ減量推進課	651,329	604,049	
廃棄物処理施設建設室	7,680,415	26,641	
クリーンセンター	528,568	290,975	
合 計	9,550,089	1,372,810	

## 【増 減】(【見 積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
環境課	115,618	130,469	○風車解体事業の実施に伴う増(環境) ○地方創生推進交付金を活用したピワイチ観光推進事業およびヘルスツーリズム実証事業にかかる増(商労) ○フェリエ南草津の外壁等改修工事が完了することによる減(商労) ○県土地改良事業費負担金の対象事業の増加に伴う増(農林) ○湖南広域行政組合運営負担金の減(ごみ減) ○クリーンセンター更新整備工事完了に伴う減(廃棄物処理施設建設室) ○新クリーンセンターの運転管理委託料および灰等の埋立て処分料の増(クリーンセンター)
商工観光労政課	▲ 61,516	1,016	
農林水産課	113,701	69,919	
ごみ減量推進課	▲ 15,004	▲ 18,188	
廃棄物処理施設建設室	▲ 7,647,343	6,431	
クリーンセンター	123,467	▲ 62,915	
合 計	▲ 7,371,077	126,732	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)	一般財源		事業概要
風車解体事業	133,674	133,674		風力発電施設「くさつ夢風車」を解体します。
災害廃棄物処理計画策定業務	5,681	5,681		大規模災害時に発生する多様で膨大な量の廃棄物を、適正かつ迅速に処理するために必要な事項をまとめた計画を策定します。
クリーンセンター解体工事	15,707	15,707		クリーンセンター更新整備工事完了に伴い、不要となる旧クリーンセンターを解体し、跡地利用を図れる状態にします。平成30年度は解体に向けて調査および実施設計を行います。
ピワイチ観光推進事業	10,000	5,000		県および関係市と連携して地方創生推進交付金を活用し、自転車で琵琶湖を一周する「ピワイチ」に関連する事業を進めます。
ヘルスツーリズム実証事業	4,000	2,000		草津版ヘルスツーリズムの将来的な旅行商品化に向けた実証を行います。
工場等設置助成金	102,707	102,707		工場等の新築・増築・改築を行う企業に対し助成金を交付します。
くさつエコスタイルプラザ事業	12,349	12,349		新クリーンセンターに設置する啓発施設において、資源循環、低炭素社会、環境学習の推進を柱に、環境啓発を進めます。
経営体育成交付金事業	5,622	0		人・農地プランに位置づけられた中心経営体が、金融機関からの融資を活用して農業用機械等を取得する場合に、その費用の一部を支援します。
草津ブランド力強化事業	4,948	4,948		草津産農水産物の普及推進、特産振興に向けた生産者への啓発、活動支援を行い、市内農水産物の生産拡大と流通経路、販売機能の開拓を図り、草津ブランドの確立を目指します。
野菜残さ等の液肥化・利活用実証実験支援事業	13,900	13,900		処理に手間やコストがかかる、野菜残さおよび水草を、循環利用を図るための手段の一つとして、高品質な液肥としての利用可能性を検証するための実証実験を支援します。
県土地改良事業費負担金	129,875	40,775		草津用水の管路の老朽化による漏水や破損事故を防ぐために、草津用水土地改良区が計画し、県営事業として実施する送水管等の機能更新事業を引き続き支援します。
馬場山寺基盤整備事業	46,183	43,165		馬場町および山寺町地先の未整備田の基盤整備を実施し、担い手へ農地集積を促進して経営基盤を強化することにより、当該地域の農業振興と優良農地の保全を目指す。

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
環境課	14,998	148,672	▲ 133,674			0	○風車解体事業の実施に伴う増(環境) ○ピワイチ観光推進事業等にかかる増(商労) ○馬場町山寺町地先の基盤整備にかかる増(農林) ○災害廃棄物処理計画を策定するため(ごみ減) ○新クリーンセンターでの新規啓発事業について計上したため(廃処室)
商工観光労政課	72,658	87,840	▲ 15,182			0	
農林水産課	57,228	103,755	▲ 46,527			0	
ごみ減量推進課	51,554	60,010	▲ 8,456			0	
廃棄物処理施設建設室	427	12,631	▲ 12,204			0	
クリーンセンター	19,433	5,188	▲ 14,245			0	
			0			0	
合 計	216,298	418,096	▲ 201,798	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

--